

10ヶ月の留学を終えて

英語英米文学科 本田愛子

モンタナ州立大学ビリングス校への留学が決まってから、全てのことが楽しみでした。ずっと英語が好きで、いつか留学したいと思っていた私の夢がついに実現することになり、最初は楽しみなことばかり考え、早く出発したいと思っていました。しかし、留学の手続きを進め、アメリカでの生活がみえてくると、心配なことが次々出てきました。私の不安は解消されることはなく、出発の日を迎えてしまいました。

最初の1ヶ月はホームステイをしながらESLに参加しました。ESLは英語を学ぶ人のプログラムということもあり、大きく悩むことはありませんでした。ホストファミリーとの生活もとても楽しく、大学生活への不安は忘れてしまっていました。アメリカの家庭でトラブルもなく生活できたので、大学でも大丈夫なのではないかと、少し自信を持ったのかもしれません。

しかし、実際の大学での生活が始ってみると、想像よりもできない自分に驚きました。授業では当然のことですが、アメリカ人の先生がアメリカ人の生徒に向けて話しているので、アメリカに来て1ヶ月も経っていない私に全てを理解するのは不可能でした。先生の話していること、生徒が発言・質問していることが理解できず、戸惑ってしまいました。ある授業で、ドイツからの留学生と一緒にいました。彼女はとても流暢に英語を話していました。彼女はみんなの英語のスピードについていけて、いつも発言をしていました。一方、私は先生からの質問を理解することですら1人で出来ません。発言するときはパーフェクトな英語を使わないといけないと緊張してしまい、自分で何を言っているのか分からなくなってしまうことが多々ありました。また、質問が理解できても、それに対する自分の意見が見つからなかったのです。彼女は自分の考えや意見をしっかり持っていて、それを英語で簡単に言っていました。そんな彼女と自分を比べてしまい、いつも授業の後に落ち込んでいました。この悩みをホストファミリーに打ち明けると、「アイコは英語を勉強しに来たんだから、それでいいのよ。外国語で授業を受けるなんて、それだけすごいことよ。」と言って励ましてくれました。この言葉で、「彼女は彼女。私は私。」と割り切り、「まだ留学生活は始まったばかりだから、できなくて当然だ。」と考えることが出来るようになりました。それから授業が分からずに、悩んだことは多々ありましたが、周りの友達や先生がとても親切で、いつも助けられていました。悩むたびに助けてくれたのは、周りの人たちでした。たくさんの人との出会いが、この留学生活での一番の宝物です。いつも私の悩みをきいてくれたホストファミリーとの出会いはもちろんですが、ルームメイトとの出会いもとても大きなものでした。

知らない人と同じ部屋で生活をする。これが、私が留学する前に一番不安に思っていたことです。実際寮に引っ越してみると、部屋の狭さに驚きました。英語を学ぶには2



人部屋がいいだろうと思い、部屋を選びました。しかし、全く知らない人と同じ部屋で生活するなんてことができるのかと、ずっと不安に思っていました。初対面のときはお互い緊張してあまり言葉はかわしませんでした。打ち解けるのにほとんど時間は掛かりませんでした。彼女はいろいろと誘ってくれて、一緒に買い物したり、映画を見に行ったりしました。また、彼女はおしゃべりが大好きで、いろんなことを話してくれました。そのおかげで私も彼女に何でも話すようになり、二人で何時間もたわいもないおしゃべりをしたこともありました。彼女は私にとって一番の英会話の先生だったと思います。



アメリカでの生活で一番楽しみにしていたことは、日本にはないイベントを体験することでした。サンクスギビングやイースターは、ホストファミリーや友達の家で過ごしました。その時々料理を食べたり、ゲームをしたり、実際のアメリカの家庭を感じることができました。ハロウィンでは、仮装した子供たちが寮にやってきました。今までは話でしか知らなかったことが次々と経験でき、とても楽しかったです。

このモンタナでの10ヶ月間、悩み、落ち込み、苦勞したことがたくさんありました。「一番大変なことは言葉だろう。」「英語が理解できるようになればどうにかなるだろう。」と思っていたのは間違いでした。英語ができて、自分の意見が言えなかったり、自分から積極的に動けなかったり。自分に足りない物がたくさん見えてきました。英語と文化を学びたいと思って留学しましたが、実際にこの留学が終わってみると、この留学は自分を見つめなおすものでした。日本で普通の大学生活を送っていたら気づかなかったかもしれません。国籍や人種、考え方の異なる人たちと出会って、改めて現在の自分がどのようなものか気づきました。文化の違いや国籍など関係なく、一人の人間として今の自分がどういうものか分かりました。このような素晴らしい機会を与えてくれて、楽しい留学生活を支えてくれた全ての人に感謝します。周りの人たちの手助けが無ければ、充実した留学生活を送ることは出来なかったと思います。